

令和 4 年度 墨田区立 寺島中 学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 7 日

<p>学 校 目 標</p>	<p>人権尊重の精神と社会貢献の精神を培い、知・徳・体の調和のとれた、たくましく、そして人間性豊かな生徒の育成を図る。</p> <p>本校の教育目標</p> <p>一、深く考え自ら学ぶ生徒</p> <p>一、心豊かで思いやりのある生徒</p> <p>一、健やかでたくましい生徒</p>
<p>目 指 す 学 校 像</p>	<p>地域から信頼される学校。</p> <p>生徒が期待感を胸一杯に膨らませながら登校し、一日の学校生活が終わった後、生徒が、満足感をたくさん得て下校することができる学校。</p>
<p>目 指 す 子 供 像</p>	<p>明るく、元気に、たくましい</p> <p>『知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性をもつ生徒』</p> <p>◆『ダイヤモンドの輝きを放つ寺中生』</p>
<p>目 指 す 教 師 像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の模範となる ・自己研鑽、相互研鑽をする（すすんで教材研究や研修を行う） ・生徒の可能性を引き出し伸ばす ・生徒一人一人を温かい目で見守り、生徒の良さを認める ・サービス事故を絶対に起こさない ・健康な体を維持する ・チームワークが良い（TEAM 教職員）

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の学習課題を明確にし、個やグループの学習形態を効果的に取り入れ、ロイロノートを活用する等 ICT 機器をより有効的に活用し、学習意欲や集中力を高め、楽しい授業・興味を引く授業を実践する。また、毎時間の授業の振り返りとまとめを確実にいき、学力の定着を図る。 ・家庭学習の確実な定着、朝学習の更なる充実を図り、個に応じた進捗で学習させることにより学力の更なる向上を目指す。 ・振り返り期間に、復習を重点的に取り組み、「わからない」を「わかる」ようになるようにし、確かな学力の定着を図る。 	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを中心とした教育相談委員会の考えが、全教員に共通理解され、考え出された具体策が実践できるようにする。また個に応じた指導を SC からの情報や助言を受けながら、実践する。 ・特別支援教室との連携を図り、個に応じた指導を推進する 	B	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習指導部を中心とし、計画的にキャリア教育を進め、自己肯定感や自己有用感をより高めていく。 ・各行事で生徒主体の活動を推進し、リーダーの育成を図る。 	B	A

様式 4

			・三者面談等、相談活動を計画的に行い、生徒に適切な卒業後の進路を選択させ、決定させる。		
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	B	・適宜必要に応じてOJTを行い、教員の教育力の向上を図っていく。 ・研究授業や公開授業をとおし、互いに学ぶ場を意図的に設定し、教員の指導力・教育力の向上を図る。 ・日常の授業を、互いに参観できるようにする。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		・より一層iPad等ICT機器を授業で有効活用して欲しい。また、不登校生徒等に対するオンライン授業ができるよう、整備を進めて欲しい。生徒の興味・関心を高め、楽しく分かりやすい授業を実施し、意欲的に学習に望む生徒を育成し、学力の更なる向上に努めて欲しい。また、学力向上には家庭の協力も必要である。家庭学習における課題をより具体的に提示し、生徒が意欲的に取り組めるようにして欲しい。また保護者会や学校便り等で、積極的に協力を求めるべきである。		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	B	・企画調整会議や生活指導部会等の情報交換から、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決を図る。問題発生時は、組織的な対応を心がけ、保護者対応を含め、初期対応を丁寧に行う。 ・日常の生徒観察やふれあい月間やいじめアンケート等から、現状把握と適切な対応をする。 ・不登校生徒の減少に向け、家庭訪問の継続や支援員等を活用しながら、家庭との連携を深めていく	B	A
	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	B	・行事等を含めた全ての教育活動において、生徒一人一人が、互いに思いやりの気持ちをもって接することの大切さを教え、いじめのない学校を目指す。 ・朝礼講話、道徳教育を通し、心の教育を推進する。 ・委員会や部活動での異学年活動を通し、生徒の自主性や社会性の伸長を図ると共に、リーダーも育成する。 ・保護者会や学校便り、ホームページを通して、本校の教育方針等を周知し、家庭の理解、協力を得る。	B	A
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	A	・いろいろな状況を想定した避難訓練、安全指導、交通安全教室、防災訓練等をより充実させ、命の大切さをより強くもつことと、万一に備えた適切な行動がとれるようにする。 ・万一の際に、自分の命はもちろん守り、中学生として何ができるかを考えさせる。 ・校内点検を定期的に行い、安全の確保をする。 ・タイムリーな情報を生徒に示し、注意喚起する。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		・学校全体が落ち着いた雰囲気であり、安心している。 ・気持ちの良い挨拶をする生徒が増えている。挨拶はとても大切なことなので、その指導を継続して欲しい。 ・いじめ問題に発展している事例はないが、今後も未然防止、早期発見、早期解決に努めて欲しい。 ・校則は少しずつ改善しているようだが、今後も保護者や生徒の意見を取り入れながら、時代にマッチしたものにして欲しい。 ・不登校生徒が多い。家庭や関係諸機関と連携して、改善に努めて欲しい。 ・門の警備員を配置したり、不審者対応の訓練を徹底したりして、万一に備えて欲しい。		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	A	・主幹会、企画調整会議、職員会議で、学校経営方針の共通理解を深め、具現化に向けた取組を実践する。 ・副校長を推進役とし、主幹教諭、主任教諭を生かした学校運営を進める。 ・教諭であっても役職を与え、人材育成を図っていく。 ・校務分掌組織は年度の終わりに必ず見直しをし、より組織的	A	A

様式 4

理 運 営			な教育活動・学校運営が実現するようにする。		
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、生活目標を掲げ、その実現に向けた取り組みをさせる。 目指す生徒像の実現に向け、日常の生徒観察、i-check や生徒による学校評価から、子供の実態を把握しながら、教育活動を推進する。 	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な校舎点検や施設点検、教職員による生徒の見守りを徹底し、生徒の学校生活に、より安全とより安心を確保し、よりよい教育環境を整える。 ICT 機器をより効果的に活用できる環境を整え、生徒の学習意欲を高め、そのことが学力の向上に繋がるようにする。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 職員の雰囲気は悪くなく、そのことが、生徒の安心・安全な学校生活にも繋がっていると考えられる。 主事さんの努力もあると思うが、校舎内の掃除が行き届いていて、きれいな校舎を保っている。 よりよい伝統を引き継ぎ、健全な子どもたちの育成の為、より良い環境の元で、より充実した学校教育を望む。 生徒の学習意欲向上につながる充実した整備を望む。 子どもを主とした学校経営を望む。 教職員の働き方改革を推進し、教職員が生き生きと働くことができる環境を整えて欲しい。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家 庭 ・ 地 域 連 携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学年便り、ホームページを活用し、よりわかりやすい情報を発信する。 学校公開や土曜授業を通し、地域・保護者に対する教育活動の公開に努める。 保護者に対し、タイムリーな情報を配信する。 	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の活用、職場体験等、地域との連携した教育活動を行い、学校・地域・家庭が一枚岩となって生徒の健全育成にあたる。 	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域からの意見や要望に対しきちんと耳を傾け、また保護者や地域が必要としている情報は何かを常に考えて欲しい。 学校便りやホームページで生徒の活躍を具体的に紹介するなど、積極的に学校の情報を発信してほしい。 学校運営連絡協議会のメンバー等の地域人材、地場産業を積極的に活用し、子どもたちの健全育成につなげて欲しい。 学校開放で登録している団体に対し、学校からの要望がある際はきちんと伝えて改善を図って欲しい。 		

2 令和4年度学校評価のまとめ

<p>東京都教育委員会の目標、墨田区教育委員会の教育目標を受け、「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた子供の育成を目指し、「深く考え自ら学ぶ生徒」「心豊かで思いやりのある生徒」「健やかでたくましい生徒」の3つの教育目標の達成に向け教育活動を進めてきた。本校の教育活動は、学校の教育目標を達成し、「明るく元気で逞しく」、「ダイヤモンドの輝きを放つ寺中生」を育成することをねらいとしている。今後も、生徒が知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、よりよい教育活動を展開していく。</p> <p>学校の教育目標の達成を図るためには、教職員一人一人がそれぞれの職務を遂行し、互いに認め合い、高め合い、そして明るく元気な全教職員で全生徒を見守りながら教育活動に寄与していく必要がある。またPTAや町会や地域の方々等、本校を支えてくれ応援していただいている関係各位がそれぞれ「TEAM」としての活動をし、それらの力を結集し「学校」、「家庭」、「地域」、「関係諸機関」が</p>
--

様式 4

連携することも要する。

今年度もコロナ禍であったが、その様な中でも学力調査は昨年と同様の成果を得た。引き続き I C T 機器をより有効活用し、授業や家庭学習を更に充実させ、更なる学力向上を目指す。生活指導面でも、いつも生徒が安心して生活できる学校であるために、継続した指導と、道徳教育等を中心とした心の教育をより充実させ、その徹底を図る。学校行事も伝統を大切にしながらも新しいスタイルでの実施を検討し、リーダーの育成と共に、生徒一人一人が活躍できる場を設定していく。

教材・教具を含めた生徒が意欲的に学習に取り組むことができる教育環境を整え、「学力の向上」、「体力の向上」、「心の教育」を進め、生徒が期待感を胸一杯に膨らませながら登校し、一日の学校生活が終わった後、生徒が満足感をたくさん得て下校することができる教育を推進する。そのことが「地域から信頼される学校」に繋がると考える。地域・保護者に、本校の教育活動の更なるご理解を得るために、連携をより一層深めると共に、情報の発信を充実させていく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立 寺島中 学校 校長 田中 茂和 公印